

《研究課題名》 咽頭喉頭食道切除における遊離空腸再建術の手術成績

《研究対象者》

西暦 1999 年 1 月より 2022 年 12 月までに滋賀医科大学医学部附属病院において遊離空腸再建術を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》 咽頭喉頭食道切除における遊離空腸再建術の手術成績

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2027年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 外科学講座 大竹玲子

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

下咽頭喉頭食道切除における遊離空腸再建術は多くの施設で標準的に施行される術式です。腹部より採取した空腸を頸部で血管吻合の後、咽頭空腸吻合・空腸食道吻合を行う術式であり、高度な消化管吻合消化管吻合技術だけでなく血管吻合の技術も要します。当院では1999年より遊離空腸再建術を施行しており症例数も蓄積されてきましたが、手術成績についての検討はまだなく、これを検討することで当院における遊離空腸再建術の安全性を確認し今後の合併症発症対策や患者様の術後QOL改善に寄与できると考えています。

《目的》

当院における遊離空腸再建術の手術成績について検討し、術後合併症等に関連する因子について解明することを目的とします。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

本研究は滋賀医科大学のみの単施設研究です。1999年1月から2022年12月の間に当院で遊離空腸再建術を施行された患者様について後方視的に観察研究を行います。

《利用する情報の項目》

オプアウト

当院のカルテで確認できる既存の情報：身体所見・血液検査データ・画像検査データ・病理検査データ・診療記録・手術記録・麻酔記録等を利用します。

《情報の管理について責任を有する者》

滋賀医科大学 外科学講座 大竹玲子

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 外科学講座 大竹玲子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

メールアドレス：hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp